

様式第1号（第5条関係）

和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業支援対象団体エントリーシート

平成29年10月24日

和泉市長 あて

団体名 いずみこどもAID

代表者名 関戸真紀

所在地

電話

和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業支援金の交付を受けたいので、和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業に関する要綱第5条の規定により、関係書類を添えて、支援対象団体の募集にエントリーします。

記

1. 事業の名称 こどもの居場所・学校へいきづらいこどもの保護者の交流の場
2. 事業の概要 不登校のこども、しんどい思いを抱えながら学校に通っているこどもに、安心して自分らしく過ごせる居場所を提供するとともに、保護者の交流の場も提供する。
3. 事業費総額 804,256 円  
(うち、対象経費 804,256 円)
4. 交付希望額 402,128 円
5. 支援対象団体と決定した場合、和泉市の後援名義を使用しますか。  
( はい ・ いいえ )
6. 添付書類
  - (1) 団体概要調書（様式第2号）
  - (2) 規約、会則又は定款及び役員名簿の写し
  - (3) 事業計画書（様式第3号）
  - (4) 収支予算書（様式第4号）
  - (5) その他市長が必要と認める書類

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

## 団体概要調書

フリガナ	イズミコドモエイド		
団体名	いずみこどもAID		
団体の目的	こどもが安心できる環境づくり		
市内事務所の所在地	【専用事務所・ <u>住居と兼用</u> ・その他（事業スペースとしてのみ使用）】		
	電話		FAX ( )
フリガナ	セキド マキ		
代表者氏名	関戸 真紀		
連絡先 ※この申請について問い合わせをしたときに 対応できる方	(連絡責任者氏名) ※ フリガナ ヤマト サチコ 山本 祥子	電話	
		FAX	( )
設立 年 月	平成 18 年 4 月	主な活動地域	和泉市
会報等の発行	<u>有</u> ( 2 回発行 ) ・ 無	会員数	45 人
メールアドレス			
ホームページ	<a href="http://izumi-kodomo-aid.org/">http://izumi-kodomo-aid.org/</a> <a href="http://ameblo.jp/cocoizumi2014/">http://ameblo.jp/cocoizumi2014/</a>		
主な事業内容	・チャイルドライン事業 ・こどもの居場所事業		
主な活動の実績	平成 12 年 和泉市と協働でチャイルドライン運営委員会発足 平成 13 年 チャイルドライン事業スタート 平成 18 年 チャイルドラインいずみ AID 設立 平成 26 年 いずみこども AID に名称変更 平成 26 年 9 月～ こどもの居場所「CoCo」の運営		
国・府・市及び各種団体等からの 他の補助金及び 委託実績 (過去3年間の 実績を記載)	年度	名称	金額(円)
	平成 27 年度	和泉市あなたが選ぶ 市民活動支援事業支援金	155,000 円
	平成 28 年度	和泉市あなたが選ぶ 市民活動支援事業支援金	223,265 円
	平成 29 年度	和泉市あなたが選ぶ 市民活動支援事業支援金	176,379 円

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

## 事業計画書

<p>申込事業の名称</p>	<p>こどもの居場所 学校へいきづらいこどもの保護者の交流の場</p>	
<p>事業の必要性 * 別紙添付可</p>	<p>（事業を実施する前提となった問題点、課題、社会背景等） 大人も子どもも生きづらい昨今、社会的弱者である子どもには、より一層そのしんどさがのしかかっている。周りに気を使いながら、疲れて生活している子どもたちからのサインの一つが不登校という現象だと考える。そんなサインを出すぎりぎりの状態やそんなサインすら出せず学校に通い続ける子どもたちも大勢いると考える。 また保護者も戸惑い、不安を抱くこともあると考え、交流の場があることで話すこと、聴いてもらえる場があればと考える。 （申込事業を実施することにより達成しようとする目標、期待される効果、団体・参加者・地域全体のメリット等） こどもは自分の気持ちを受けとめてもらうことで安心し、ありのままの自分を受け入れることができるようになる。自尊感情・自己肯定感が高まり、自分の気持ちを大切にしながら、課題解決に向けて自分の力で進んでいくことが期待される。また、自分の気持ちを大切にできることで、他者の気持ちも大切にできるようになると考える。 保護者も交流によって、何かを感じてもらえるのではと考える。</p>	
<p>事業内容 * 別紙添付可</p>	<p>（主な対象者）小学生から18歳までの子どもと保護者 参加予定者数 子ども4名 保護者10名 （事業実施期間）平成30年4月～平成31年3月 （事業実施場所）こどもの居場所「CoCo」 （問題点、課題を解決するためにどのような方法を用いてどのような事業を実施するのか）来所した子どもとスタッフが一緒に過ごす。スタッフは、指導や助言をするのではなく、こどもの気持ちに寄り添いながら、こどもが自分で選んで動いていける環境をつくる。大きなイベントをするのではなく、こどもが自分の気持ちを大切にしたい日常を積み重ねる経験をえられるような関わりをもつ。 保護者同士の交流が持てる場の提供（CoCo de おしゃべり）。 保護者や子どもに居場所を知ってもらい、安心感を持って利用してもらえるよう居場所開放日を設ける。また要望に応じて説明会・懇談会・居場所体験を実施する。 スタッフを養成する講座、スタッフの継続研修の実施 地域や保護者への啓発活動として講演会の実施</p>	
<p>事業スケジュール</p>	<p>時期（月）  4月   3月</p>	<p>・火、木、土曜日 10時～14時 ・火曜のみ 15時～19時 ・第2・第4金曜日 13時～ 居場所一般開放 ・第1・第3金曜日 10時～12時（CoCo de おしゃべり） （居場所の時間帯を少しでも伸ばしてほしいという声があるので、1時間増やす。そして新たに午後遅めの時間帯でも居場所を行なうことで、来所可能者がいるのではないかと考える。さらに保護者と子ども対象の企画で、昨年度不定期に行った一般開放日を定期的に行なうようにする。また保護者交流の場も徐々に認知され、継続参加の方も増えているため、回数を増やす） ・こどもの居場所の開所（火・木・土 年間計141日） ・保護者交流・一般開放（金曜 年間48日） ・保護者との個人懇談会（4人×6回＝24回） ・定例会（研修）第2金曜日・運営会議 第4金曜日 ・スタッフ養成研修（年間計4回） ・講演会（居場所の広報活動、啓発活動）</p>

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

## 収支予算書

事業の名称： こどもの居場所・学校へいきづらいこどもの保護者の交流の場

### 1. 【収 入】

（単位：円）

項 目	金 額	積算根拠
支援金	402,128 円	あなたが選ぶ市民活動支援事業支援金
事業収入	76,000 円	登録費 1,000 円×4 人 = 4,000 円 会 費 1,500 円×4 人×12 ヶ月=72,000 円
自主財源	326,128 円	
合 計	804,256 円	

### 2. 【支 出】

（単位：円）

費 目	金 額	積算根拠（数量、単価等）
報償費	15,000 円 24,000 円	講演会講師謝礼（交通費含む） C o C oでおしゃべり講師謝礼（2,000×12 回）
消耗品費	22,000 円	文房具・用紙・インク代
印刷製本費	10,000 円	リーフレット・講演会チラシ代金
役務費	15,200 円 5,376 円	スタッフ保険代（800 円×15 名）= 12,000 円 子ども保険代（800 円×4 名） = 3,200 円 書類郵便料（120 円×12 回） = 1,440 円 郵便料 82 円×（4 名×12 ヶ月） = 3,936 円
使用料	709,680 円 3,000 円	{45,000 円（家賃）×1.08（消費税）}×12 か月 = 583,200 円 10,000 円（電気）×12 か月 = 120,000 円 500 円（水道）×1.08×12 ヶ月 = 6,480 円 人権文化センター講演会使用料
合 計	804,256 円	
対象経費	804,256 円	

※費目は、別表（第9条関係）に記載されているとおりに記載してください。

※備品費（対象経費）には備品以外の対象経費の合計を3で除した額もしくは1品あたり上限5万円で算定した備品費のいずれか低い額を記載してください。

### 3. その他

支援金内定額が交付希望額より少ない場合、申請事業の遂行は可能ですか。

（ はい・いいえ ）

「はい」と答えた団体のみご記入ください。

・申請事業の遂行のため、どのような取り組みや工夫を行いますか。

（ 自主財源を増やす 寄附をつのる ）

備考 実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書を添付する必要があります。

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業支援対象団体エントリーシート

平成29年10月31日

和泉市長 様

団体名 上代町盆踊り実行委員会

代表者名 会 長 川端 秀典

所在地

電 話

和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業支援金の交付を受けたいので、和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業に関する要綱第5条の規定により、関係書類を添えて、支援対象団体の募集にエントリーします。

記

1. 事業の名称 平成30年度 上代町盆踊り大会
2. 事業の概要 上代町ふれあい広場にて、鶴山台北校区・信太校区・幸校区を中心とした和泉市民の地域交流・世代間交流を目的に盆踊りを企画・実行する。
3. 事業費総額 753,000円  
(うち、対象経費 313,000円)
4. 交付希望額 156,500円
5. 支援対象団体と決定した場合、和泉市の後援名義を使用しますか。  
( ☒ はい ) ・ いいえ )
6. 添付書類
  - (1) 団体概要調書（様式第2号）
  - (2) 規約、会則又は定款及び役員名簿の写し
  - (3) 事業計画書（様式第3号）
  - (4) 収支予算書（様式第4号）
  - (5) その他市長が必要と認める書類

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

## 団体概要調書

フリガナ	ウエダイチョウボンオドリジッコウインカイ		
団体名	上代町盆踊り実行委員会		
団体の目的	子供から老人までの住民同士の交流の機会を構築し、地域コミュニティの活性及び地域の絆を深めることを目指す。		
市内事務所の所在地	【専用事務所 ・ 住居と兼用 ・ その他（ ）】		
	電 話		FAX 0725 (45) 1922
フリガナ	カワバタ ヒデノリ		
代表者氏名	川端 秀典		
連絡先 ※この申請について 問い合わせをしたと きに対応できる方	(連絡責任者氏名) ※ ニシモト ヒトシ 西本 仁司		電 話 FAX
設 立 年 月	平成 25 年 1 月	主な活動地域	和泉市上代町他
会報等の発行	有（ 回発行） ・ 無	会員数	100 人
メールアドレス	@		
ホームページ	http://		
主な事業内容	上代町ふれあい広場中央に櫓を設置し、櫓周りに夜店、各種団体の休憩用テントを設営し、音頭取りの音頭のもと婦人会を主に地域住民が踊り子となり、子供から老人まで住民同士の交流の機会を構築しコミュニティの活性化を計る		
主な活動の実績	昭和 55 年頃より青年団主催で小さい規模ながら毎年開催され平成 25 年度より青年団に代わり上代町盆踊り実行委員会の主催で本大会を運営する。		
国・府・市及び 各種団体等から の他の補助金及 び委託実績 (過去3年間の 実績を記載)	年度	名称	金額 (円)

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。



事業計画書

申込事業の名称	平成30年度 上代町盆踊り大会	
事業の必要性 *別紙添付可	<p>（事業を実施する前提となった問題点、課題、社会背景等）</p> <p>地域は住民の転入、転出等で少子高齢化も進み住民相互のつながりや支え合いが弱くなってきています。住民同士の交流の機会をつくり、地域の絆を深めることを目的にイベントを開催したいと思います。</p> <p>（申込事業を実施することにより達成しようとする目標、期待される効果、団体・参加者・地域全体のメリット等）</p> <p>各種団体や子供から老人までが共に参加、交流することで地域住民の絆を深め、転出された地元2世、3世のお盆帰省を促し地域のコミュニティーの活性化を目指す。</p>	
事業内容 *別紙添付可	<p>（主な対象者）</p> <p>鶴山台北校区・信太校区・幸校区及び近隣の住民 参加予定者数 400人</p> <p>（事業実施期間）</p> <p>平成30年8月11日</p> <p>（事業実施場所）</p> <p>上代町ふれあい広場</p> <p>（問題点、課題を解決するためにどのような方法を用いてどのような事業を実施するのか）</p> <p>上代町ふれあい広場という限定された会場内で本大会を開催するため、櫓周りでの多数の踊り子さん及び夜店の客等会場内参加者の誘導及び整理に努める。</p> <p>また一部会場内に臨時駐車場も併設するため、青年団による車両の誘導等、大会会場内への人の動線を確保し円滑に盆踊り大会を運営するための準備を行う。</p>	
事業スケジュール	<p>時期 （月）</p> <p>4月～7月</p> <p>8月</p> <p>9月</p>	<p>内容</p> <p>企画、運営会議</p> <p>信太連合会議等で参加の呼びかけ</p> <p>櫓組立、会場設営</p> <p>盆踊り大会運営</p> <p>櫓解体、後片付け</p> <p>反省会議</p>

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

様式第4号（第5条・第12条関係）

収支予算書

事業の名称： 平成30年度 上代町盆踊り大会

1. 【収 入】 (単位：円)

項 目	金 額	積算根拠
支援金	156,500 円	あなたが選ぶ市民活動支援事業支援金
協賛金	496,500 円	御花寄付金等
事業収入	100,000 円	夜店売上
合 計	753,000 円	

2. 【支 出】 (単位：円)

費 目	金 額	積算根拠（数量、単価等）
報償費	120,000 円	音頭取り御礼
消耗品費	35,000 円	プリンターインク、ラミネートフィルム、氷等
食料費	15,000 円	スタッフ作業時飲料代(100人以上)
印刷製本費	43,000 円	団扇印刷代（来場者に配布）
委託料	100,000 円	電気工事一式委託料
消耗品費 (対象外経費)	300,000 円	若頭会・青年団出店運営費用 ゲーム景品・販売用品
使用料及び賃借料 (対象外経費)	120,000 円	倉庫借り上げ料
その他(対象外経費)	20,000 円	婦人会盆踊り御礼
合 計	753,000 円	
対象経費	313,000 円	

※費目は、別表（第9条関係）に記載されているとおりに記載してください。

※備品費（対象経費）には備品以外の対象経費の合計を3で除した額もしくは1品あたり上限5万円で算定した備品費のいずれか低い額を記載してください。

3. その他

支援金内定額が交付希望額より少ない場合、申請事業の遂行は可能ですか。

( ☒ はい ・ いいえ )

「はい」と答えた団体のみご記入ください。

・申請事業の遂行のため、どのような取り組みや工夫を行いますか。

事業規模の縮小、飲食費及び夜店景品の削減

備考 実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書を添付する必要があります。

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。



様式第1号（第5条関係）

和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業支援対象団体エントリーシート

平成29年10月31日

和泉市長 あて

団体名 Glanz Winds Orchestra

代表者名 前田 佳那 印

所在地

電 話

和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業支援金の交付を受けたいので、和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業に関する要綱第5条の規定により、関係書類を添えて、支援対象団体の募集にエントリーします。

記

1. 事業の名称 定期演奏会
2. 事業の概要 吹奏楽を通じて、福祉施設を中心に慰問コンサートを行う。  
3月末にホールで演奏会を開き、福祉施設入居者の来場を  
促すと共に、学生中心のオーケストラが活躍する姿を広く  
市民に楽しんでいただき、音楽文化・教育文化に貢献する。
3. 事業費総額 370,000 円  
(うち、対象経費 370,000 円)
4. 交付希望額 185,000 円
5. 支援対象団体と決定した場合、和泉市の後援名義を使用しますか。  
( はい ・ いいえ )
6. 添付書類  
(1) 団体概要調書（様式第2号）  
(2) 規約、会則又は定款及び役員名簿の写し  
(3) 事業計画書（様式第3号）  
(4) 収支予算書（様式第4号）  
(5) その他市長が必要と認める書類

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

## 様式第2号（第5条関係）

## 団体概要調書

フリガナ	グランツ ウィンズ オーケストラ		
団体名	Glanz Winds Orchestra		
団体の目的	この吹奏楽団は、吹奏楽を通じて団員相互の友愛と親睦を図り、その活動により心豊かな情操と節度を養い、地域社会の教育文化の発展に貢献することを目的とする。		
市内事務所の所在地	【専用事務所 ・ 住居と兼用 ・ その他（ ）】		
	電 話	FAX	( )
フリガナ	マエダ カナ		
代表者氏名	前田 佳那		
連絡先 ※この申請について 問い合わせをしたと きに対応できる方	(連絡責任者氏名) ※ フリガナ マエダ カナ 前田 佳那	電 話	
		FAX	( )
設 立 年 月	平成29年 7月	主な活動地域	和泉市
会報等の発行	有( 回発行) ・ 無	会員数	20 人
メールアドレス	@		
ホームページ	http://		
主な事業内容	地域社会の教育文化の貢献のため、年齢を問わず、地域の方々に喜んでいただける演奏会を開く。		
主な活動の実績	吹奏楽が盛んな和泉市の中学校を卒業したが、高校生、大学生になっても、またみんなで音楽をしたい！という気持ちのある、楽しみ・楽しませるという意欲のある学生が集まり、今年の7月に発足しました。演奏会を大きな目標とし、練習に励んでいます。		
国・府・市及び 各種団体等から の他の補助金及 び委託実績 (過去3年間の 実績を記載)	年度	名称	金額(円)

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

## 事業計画書

申込事業の名称	定期演奏会	
事業の必要性 *別紙添付可	<p>（事業を実施する前提となった問題点、課題、社会背景等）          中学校のクラブ活動等で培った吹奏楽の経験・スキルや吹奏楽への熱意を、クラブ活動を卒業して終わりにするのではなく、何かに活かしたいと考えた。音楽はスマホやタブレットで再生して聴くのが当たり前になっている時代に、生の吹奏楽演奏でしか伝えられないエネルギーを、地域の方々に届けて元気にしたいと思う。</p> <p>（申込事業を実施することにより達成しようとする目標、期待される効果）団体・参加者・地域全体のメリット等          なかなか外出する機会がもてない・世間一般のコンサート会場へ赴くには敷居が高いと感じる人々（福祉施設入居者等）を中心に、音楽のエネルギーを届け地域を元気にする。弥生の風ホールでの演奏会では、福祉施設入居者が外出を楽しみにする機会をつくと共に、学生が中心のオーケストラが活躍する公演を聴いてもらうことで、特に同年代の学生・若者への刺激となり、教育文化・音楽文化の向上につなげることを目標とする。</p>	
事業内容 *別紙添付可	<p>（主な対象者）          全和泉市民                      参加予定者数      延べ270人</p> <p>（事業実施期間）          4月～3月    慰問コンサート          3月下旬    演奏会</p> <p>（事業実施場所）          福祉施設・弥生の風ホール</p> <p>（問題点、課題を解決するためにどのような方法を用いてどのような事業を実施するのか）          市内の福祉施設などへ慰問コンサートをする。世間一般に行われているコンサートに出向くことがなかなか出来ないに入居者の方々に、生の吹奏楽の演奏を楽しんでいただく。また、3月末に、活動の集大成として、定期演奏会を行う。福祉施設等に招待券を配り、普段外出する機会があまりない入居者の方にとっても、参加しやすい演奏会となるよう、工夫をする。大きな舞台での演奏ならではの感動を届け、外に出る機会が少なくなりがちな入居者の方が、外出を楽しむ機会にもする。また市内全体からも来客を募り、和泉市の音楽教育の発展にも貢献したい。</p>	
事業スケジュール	時期（月） 4月 ～3月 3月中旬	内容 慰問コンサート  弥生の風ホールコンサート

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

## 収支予算書

事業の名称：

定期演奏会

### 1. 【収 入】

（単位：円）

項 目	金 額	積算根拠
支援金	185,000	あなたが選ぶ市民活動支援事業支援金
事業収入	125,000	入場料
自主財源	60,000	団費
合 計	370,000	

### 2. 【支 出】

（単位：円）

費 目	金 額	積算根拠（数量、単価等）
使用料及び賃借料	230,000	会場ホール借上料
消耗品代	67,000	事務用品、小道具、楽譜等購入費
委託料	40,000	当日楽器運搬代
備品費(対象経費)	33,000	小物打楽器購入費
備品費(対象外経費)		
合 計	370,000	
対象経費	370,000	

※費目は、別表（第9条関係）に記載されているとおりに記載してください。

※備品費（対象経費）には備品以外の対象経費の合計を3で除した額もしくは1品あたり上限5万円で算定した備品費のいずれか低い額を記載してください。

### 3. その他

支援金内定額が交付希望額より少ない場合、申請事業の遂行は可能ですか。

（ はい ・ いいえ ）

「はい」と答えた団体のみご記入ください。

・申請事業の遂行のため、どのような取り組みや工夫を行いますか。

備考 実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書を添付する必要があります。

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業支援対象団体エントリーシート

平成29年10月31日

和泉市長 あて

団体名 Go ing 横山

代表者名 塔筋就子 印

所在地

電 話

和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業支援金の交付を受けたいので、和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業に関する要綱第5条の規定により、関係書類を添えて、支援対象団体の募集にエントリーします。

記

1. 事業の名称 “赤い蕎麦の花咲かそ”
2. 事業の概要 横山校区には遊ばせておくにはもったいない休耕放棄地が数多くある。そこを利用して赤蕎麦を栽培し、農業の楽しさ・収穫の喜びを分かち合いつつ、外環状線沿いに赤蕎麦の花による美しい景観作りを実現する。
3. 事業費総額 520,000 円  
(うち、対象経費 500,000 円)
4. 交付希望額 250,000 円
5. 支援対象団体と決定した場合、和泉市の後援名義を使用しますか。  
( はい・ いいえ )
6. 添付書類  
(1) 団体概要調書（様式第2号）  
(2) 規約、会則又は定款及び役員名簿の写し  
(3) 事業計画書（様式第3号）  
(4) 収支予算書（様式第4号）  
(5) その他市長が必要と認める書類

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

## 団体概要調書

フリガナ	ゴ-イング 横山		
団体名	Going 横山		
団体の目的	初年度は和泉市仏並町244から248番地を軸に近隣の賛同者の畑に赤蕎麦を栽培して、次第に横山全域の休耕地に赤蕎麦と白蕎麦を開花させ、一面の花畑を観光スポットにして内外の観光客を誘致する。中高年者に楽しく軽い農作業提供は雇用の促進。 まちづくり推進活動。観光振興。農村振興の三位一体の活動。		
市内事務所の所在地	【専用事務所 ・ 住居と兼用 ・ その他（ ）】		
	電 話		FAX
フリガナ	タスジ シュウ		
代表者氏名	塔筋 就子		
連絡先 ※この申請について 問い合わせをしたと きに対応できる方	(連絡責任者氏名) ※ タスジ シュウ		電 話
	塔筋 就子		FAX
設 立 年 月	2017 年 8 月	主な活動地域	和泉市横山校区
会報等の発行	有（ 回発行） ・ 無	会員数	10人
メールアドレス			
ホームページ	http://		
主な事業内容	横山校区を主に、南部一帯の耕作放棄地の有効利用。 平行して中高年者の就労（軽作業）促進を事業の主軸とする。		
主な活動の実績	<u>現段階までの活動</u> 三位一体の活動イメージの発案は平成 28 年7月。以降地元お世話役さんなどに趣旨説明などを続け耕作放棄地の所有者探し、平行して、若い農業者の会合を持ち、試行錯誤する事1年3ヶ月。ついに篤厚な方から土地使用の許可を得たものゝ、旧態の農業経営でない新企画の模索を続け、ついに赤蕎麦に行き着いて、11月5日の蒔種に到達。この時期の蒔種は時期的に不安材料は有るが、まずは試行する事に重点を置いて、圃場の除草、整地、蕎麦苗種購入に到った。 <u>今期の行動</u> 春先からの圃場の除草、整地、蕎麦苗種購入、蒔種時、開花時（開花時には特に観光に力点）のイベント催行。刈り取り、乾燥、脱穀、製粉、製麺、蕎麦打、各々、年2回の計8回のイベント催行を予定。		
国・府・市及び 各種団体等から の他の補助金及 び委託実績 （過去3年間の 実績を記載）	年度	名称	金額（円）

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。



## 事業計画書

申込事業の名称	“赤い蕎麦の花咲かそ”	
事業の必要性 *別紙添付可	<p>（事業を実施する前提となった問題点、課題、社会背景等） かつて高度経済成長の牽引車であった団塊世代は70代を迎え、日本は少子高齢化社会となっている。農業従事者もその例に漏れずリタイアが続き、農業が廃れつつある現状は、若者の地方からの流出・独居老人の増加にもつながっている。 日本中に休耕放棄地が増え、景観を損なう事態にもなっている。 （申込事業を実施することにより達成しようとする目標、期待される効果）団体・参加者・地域全体のメリット等 農作業参加による中高齢者の交流・軽運動による健康増進、生き甲斐づくり。農耕の楽しさや収穫の喜びを共有する。 赤蕎麦栽培による休耕放棄地の削減・景観の再構築。 ゆくゆくは信州伊那高原のような赤蕎麦の景観を誇れる地とし、若者のUターンや和泉市への経済効果へ繋げることを視野に入れる。</p>	
事業内容 *別紙添付可	<p>（主な対象者）和泉市を主として、周辺地域より広く募る 参加予定者数 30人／回 （事業実施期間）平成30年4月～平成31年3月 （事業実施場所）和泉市横山校区 （問題点、課題を解決するためにどのような方法を用いてどのような事業を実施するのか） 耕作放棄地（仏並町244番地～248番地よりスタート）にて、所有者からの協力・指導の下、市民から募った参加者と共に赤蕎麦・白蕎麦の栽培を行う。開花時期の景観構築の実現や、収穫後の蕎麦打ち・試食の交流会を行う。高齢者の農業参加が予想されるので、安心してイベントに参加できるよう、休憩所（パラソル・デッキ等）の整備も平行して進める。 ※赤蕎麦はヒマラヤ原産・信州大の教授が種を持ち帰り品種改良したもので、まだ日本では広く知られていない。春・秋の連絡が可能で美しい花は観光要素にもなる。</p>	
事業スケジュール	時（月）	内容
	4月	耕作放棄地の所有者と交渉、同意を得て、圃場を広げる。
	5月	圃地を鋤き、整地。
	6月上旬	赤蕎麦や白蕎麦の蒔種イベントを催行
	7月上旬	開花の宴 イベント催行
	8月	収穫祭 ボランティア協力で催行
	9月下旬	脱穀、製粉 そば打ち
	10月下旬	秋蒔種の種まきイベント催行
	11月下旬	開花の宴 イベント催行
	12月	収穫祭 イベント催行
	1月下旬	脱穀、製粉 そば打ち

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

## 収支予算書

事業の名称：“赤い蕎麦の花咲かそ”

## 1. 【収 入】

（単位：円）

項 目	金 額	積算根拠
支援金	250,000	あなたが選ぶ市民活動支援事業支援金
事業収入	100,000	イベント参加料（種まき・花見・収穫・蕎麦打ち等 計8以上回開催） （10人×4回×500円・10人×4回×1,000円） 収穫物売上（40,000円）
自主財源	170,000	
合 計	520,000	

## 2. 【支 出】

（単位：円）

費 目	金 額	積算根拠（数量、単価等）
報償費	24,000	イベント参加賞（300円×10人×8回）
旅費	150,000	イベント時・農作業時交通費（週一通勤想定） 会長（公共交通機関 1,500円×4回×10ヶ月） 副会長（燃料代 15円×50km×4回×10ヶ月） 他会員（概算 60,000円）
消耗品費	220,000	赤蕎麦種苗（1,000円/kg×20kg） 農作業用品・事務用品（20,000円）
食料費	16,000	スタッフ作業時飲料（200円×10人×8回）
印刷製本費	30,000	ポスター・チラシ制作費
使用料及び賃借料	60,000	農耕具レンタル代（60,000円/3日）
備品費（対象外経費）	20,000	コンロ4台（イベント時調理用）
合 計	520,000	
対象経費	500,000	

※費目は、別表（第9条関係）に記載されているとおりに記載してください。

※備品費（対象経費）には備品以外の対象経費の合計を3で除した額もしくは1品あたり上限5万円で算定した備品費のいずれか低い額を記載してください。

## 3. その他

支援金内定額が交付希望額より少ない場合、申請事業の遂行は可能ですか。

（はい・いいえ）

「はい」と答えた団体のみご記入ください。

・申請事業の遂行のため、どのような取り組みや工夫を行いますか。

（会員で費用を出し合う。広く賛同者を募り、ボランティアの協力で年2回の赤蕎麦祭りをメインに多面的なイベントを催行する。NetやWebで広告宣伝を広く且つ密にして人集めをする。）

備考 実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書を添付する必要があります。

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

審査対象団体リスト(それぞれの項目について○(可)・△(疑問)・×(否)の何れかを記入し、△又は×の場合は、その理由を理由欄に記入してください。) 【資料-5】

番号	団体名	事業名	団体要件	事業要件	対象経費	市民利益寄与	計画の 具体性・ 成果見込み	理由
1	あおばお助け隊	あおばお助け隊						
2	和泉市音楽家連盟「音の和」	和泉市音楽家連盟「音の和」11thコンサート 音の和列車の車窓から～音楽で巡る世界 国々～(仮)						
3	のぞみ野街づくり推進委員会	第14回 のぞみ野夏まつり						
4	和泉市少年少女合唱団	和泉市少年少女合唱団						
5	緑ヶ丘世代間交流実行委員会	緑ヶ丘夏まつり						
6	信太連合	信太連合(聖大祭・地車祭の安全対策、PR 活動、清掃)						
7	ミータスコア・グループ未来	宮崎剛の「第九」ファミリーコンサート2018						
8	青葉はつが野世代間交流推進委員会	第37回 青葉台夏まつり						
9	和泉市ディスコン協会	第11回和泉市地域交流ディスコン大会						
10	和泉・ねころじの会	地域猫の活動						
11	国府校区納涼大会実行委員会	国府校区納涼大会						
12	内田町ボランティア 蛸の会	蛸の放流・鑑賞会						
13	ガールスカウト大阪府第28団	野外クッキング&防災						
14	パソコン会	障がい者のためのパソコン教室						

審査対象団体リスト(それぞれの項目について○(可)・△(疑問)・×(否)の何れかを記入し、△又は×の場合は、その理由を理由欄に記入してください。)

【資料-5】

番号	団体名	事業名	団体要件	事業要件	対象経費	市民利益寄与	計画の 具体性・ 成果見込み	理由
15	和泉の国ジャズストリート実行委員会	『和泉の国ジャズストリート2018』						
16	一般社団法人和泉青年会議所	第7回 わんぱく相撲 和泉場所						
17	四季の味覚祭 実行委員会	四季の味覚祭 ～地産池消による地域活性化イベント～						
18	子育てサロン ふれんど	子育てサロン ふれんど 野外活動						
19	和泉だんじり大連合青年部	和泉だんじり祭り継承事業						
20	NPO法人 いずみ太鼓	災害復興応援チャリティーイベント いずみの国弥生まつり						
21	アトピーなんか飛んでいけ！の会	アトピー・喘息の食事療法研究プロジェクト						
22	松尾連合地車連絡協議会	松尾連合地車祭継承事業						
23	モア21	米作りプロジェクト						
24	泉州信太山盆踊り保存会	伝承文化「泉州信太山盆踊り」保存・普及・交流事業						
25	いぶき野夏祭り実行委員会	H30年度いぶき野夏祭り						
26	特定非営利活動法人 いずみの国の自然館クラブ	自然観察・自然史科学の普及・自然史資料の 収集整理・研究出版・環境教育・自然館での イベント事業						
27	伯太フェスタ実行委員会	伯太ふれあいフェスタ2018						
28	コーラスグループぶどうの木	東日本大震災支援ボランティア体験プログラム ム&報告会						

審査対象団体リスト(それぞれの項目について○(可)・△(疑問)・×(否)の何れかを記入し、△又は×の場合は、その理由を理由欄に記入してください。)

【資料-5】

番号	団体名	事業名	団体要件	事業要件	対象経費	市民利益寄与	計画の 具体性・ 成果見込み	理由
29	総合型地域スポーツクラブ 大阪和泉光倶楽部	光明台区を中心とした子どもと中高年齢者の 身体づくり事業						
30	一般社団法人いずみ障がい福祉 サービス 事業所団体連合会	ハートフルフェスタ2018						
31	特定非営利活動法人 こどもNPOセンター いずみっ子	おもしろ体験型市場「こども市」						
32	レインボー・シード	バリアフリーイベントほほえみフェスタ・ほほえ み座談会・ シブリングキッズ会						
33	はつが野街づくり推進委員会	はつが野祭り						
34	「障害」を持つ仲間と共に歩む和泉 若者の集い 実行委員会	第28回「障害」をもつ仲間と共に歩む和泉若 者の集い						
35	ママが綺麗になる応援団	ママが綺麗に笑顔なる応援団						
36	ローズ・ウッドー	アロマテラピーで植物の香りのある暮らし アロマハンドケア体験						
37	いずみの国のいつくしみ市実行委員	いずみの国のいつくしみ市						
38	いずみこどもAID	こどもの居場所・学校へいきづらいこどもの保 護者の交流の場						
39	上代町盆踊り実行委員会	平成30年度 上代町盆踊り大会						
40	Glanz Winds Orchestra	定期演奏会						
41	Going 横山	“赤い蕎麦の花咲かそ”						

平成29・30年度ちよいず事業スケジュール			
日 時	平成29年度分	平成30年度分	
11月21日(火)	第3回判定会(実績報告審査)	第3回判定会(支援対象団体の審査)	
↓			
12月上旬			支援対象団体可否決定通知書の送付
↓			
1月下旬	第4回判定会(実績報告審査)		
↓			団体紹介冊子や選出届出用紙を全戸配布
2月1日(木) ~ 2月28日(水)			市民からの選出届出受付
↓			
3月下旬	第5回判定会(実績報告審査)	選出届出結果報告	
↓	交付確定	選出届出結果公表	
↓		変更交付申請受付	
4月上旬		第1回判定会(変更交付申請審査)	
↓			
4月中旬			参加団体との意見交換会